

国際食料セミナーin宮崎 International Food Seminar

ANA ホリデイインリゾート、青島・宮崎

Miyazaki, Japan

第2部

これからの日本農業

-- 世界に挑め！ --

What to do with Agriculture in Japan...

Challenge and Explore the World Markets!!

By

Shoichi Ito, *Ph.D.*

伊東正一・九州大学名誉教授

Professor Emeritus, Kyushu University

s.ito.250@m.kyushu-u.ac.jp

<http://worldfood.apionet.or.jp>

June 30, 2018

国内対策と海外対策



**Ag operators over 65 years old:
16% in 1960**

65% now

MAFF (2017)

国内対策(生産者レベル)

- **規模拡大による生産コストの削減**
 - 規模拡大が困難な品目も段階的に拡大を
 -
- **消費者ニーズに対応した生産**
 - 同じ品目のマンネリ化生産からの脱却
 - 消費者との直接連携 ???
- **高品質生産の追求と標準品質レベルの選択**

- 国際市場を狙うなら…

アメリカを知れ！

アメリカで通用するものは世界に通用する！

アメリカで流行するものは世界で流行する！

日本農業の国際化とは・・・？

What is globalization for agriculture?

- **国内市場、海外市場で外国産と闘う！**

Compete with foreign products in/outside Japan!

- **輸出をする！**

Export products!

- **輸入を拒まない！**

Do not refuse imports!

- **選択権を消費者に！**

Give a choice to the consumers!

- **消費者主権を大事に！**

Respect Consumer Sovereignty!

2 合意内容

- 米は関税削減・撤廃等からの「除外」を確保、麦は現行の国家貿易制度を維持するとともに、ごく少量の関税割当枠を設定
- 乳製品のうち、ソフト系チーズは関税割当として、枠数量は国産の生産拡大と両立できる範囲にとどめ、脱脂粉乳・バター等は国家貿易を維持し、限定的な民間貿易枠を設定
- 豚肉は差額関税制度を維持した上で、長期の関税削減期間（9年）と輸入急増に対するセーフガードを確保、牛肉は長期の関税削減期間（15年）と輸入急増に対するセーフガードを確保
- 林産物は構造用集成材等の即時関税撤廃を回避し、一定の関税撤廃期間を確保
- EU側からは、牛肉、茶、水産物等のほぼ全ての品目で関税撤廃を獲得。また、日本側48産品、EU側71産品の地理的表示（GI）を相互に高いレベルで保護

EUとの相互保護対象となる我が国のGI48産品

 あおもりカンス 青森県	 加賀丸いも 石川県	 前沢牛 岩手県	 紀州金山寺味噌 和歌山県	 宮崎牛 宮崎県
 但馬牛 兵庫県	 三島馬鈴薯 静岡県	 くろさき茶豆 新潟県	 美東ごぼう 山口県	 近江牛 滋賀県
 神戸ビーフ 兵庫県	 下関ふく 山口県	 東根さくらぼ 山形県	 木頭ゆず 徳島県	 鹿児島黒牛 鹿児島県
 夕張メロン 北海道	 能登志賀ころ柿 石川県	 みやぎサーモン 宮城県	 上庄さといも 福井県	 入善ジャンボ西瓜 富山県
 八女伝統本玉露 福岡県	 十勝川西長いも 北海道	 大館とんぶり 秋田県	 琉球もろみ餅 沖縄県	 香川小原紅早生みかん 香川県
 鹿児島黒豚 鹿児島県	 十三湖産大和しじみ 青森県	 大分かぼす 大分県	 石狭小浜小鯛ささ漬 福井県	 辺塚だいたい 鹿児島県
 くまもと県産い草 熊本県	 連島ごぼう 岡山県	 すんき 長野県	 桜島小みかん 鹿児島県	 堂上峰屋柿 岐阜県
 鳥取砂丘らっきょう 鳥取県	 特産松阪牛 三重県	 田子の浦しらす 静岡県	 岩手野田村荒海ホタテ 岩手県	 小川原湖産大和しじみ 青森県
 三輪素麺 奈良県	 米沢牛 山形県	 万願寺甘とう 京都府	 奥飛騨山之村寒干し大根 岐阜県	
 市田柿 長野県	 西尾の抹茶 愛知県	 飯沼粟 茨城県	 八丁味噌 愛知県	

野菜類 果実類 畜産物 水産物 加工品等



カリフォルニア米の流通(近年平均)

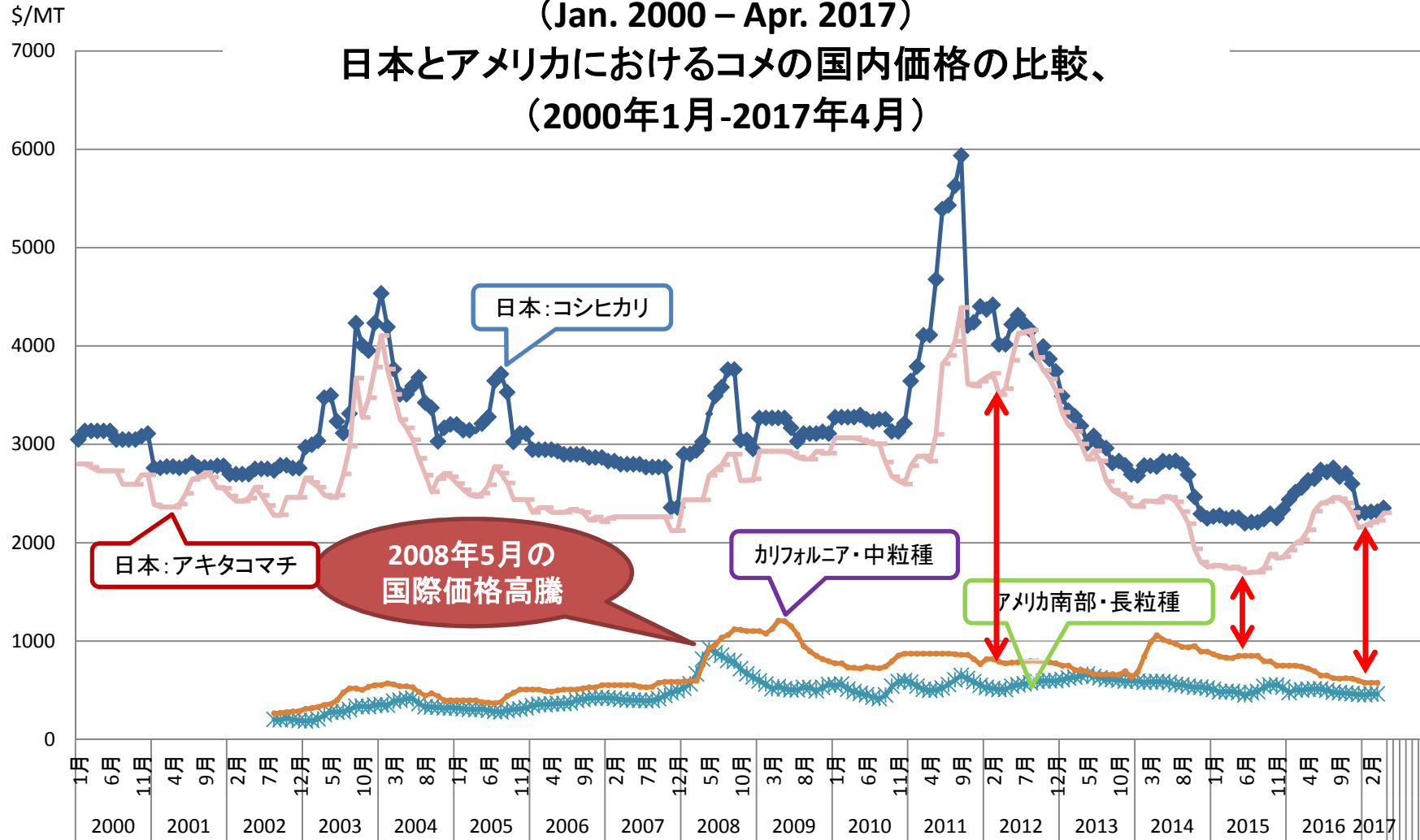
- 生産量 155万トン(精米換算)
- 国内消費量 85万トン
- 輸出量 70万トン
 - 日本 36万トン
 - 韓国 8万トン
 - 台湾 5万トン
 - その他 21万トン

ソース: USDA: Rice Outlook, Feb. 2012,ほか

Comparison of rice market prices between the U.S. and Japan

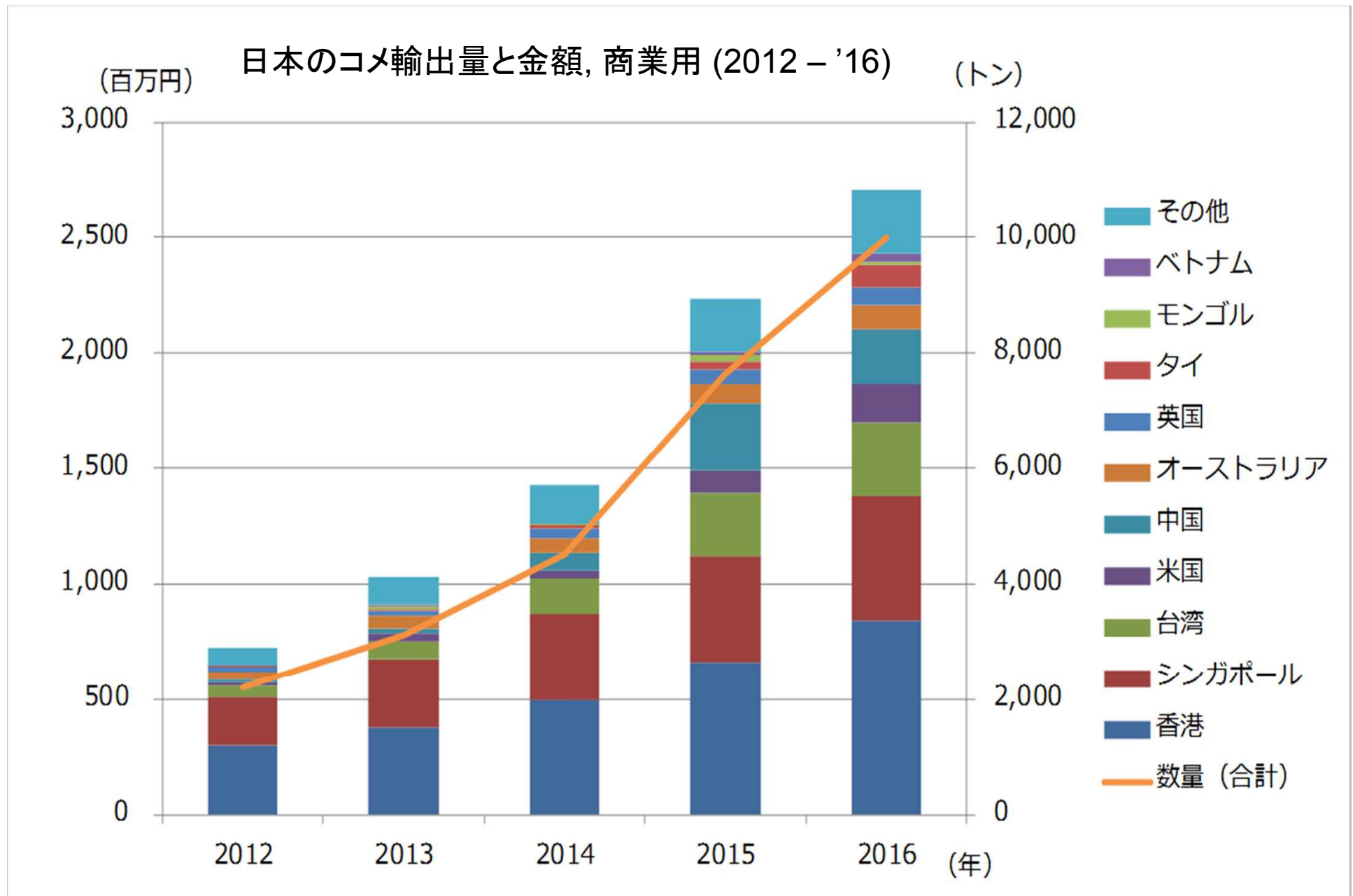
(Jan. 2000 – Apr. 2017)

日本とアメリカにおけるコメの国内価格の比較、
(2000年1月-2017年4月)



Sources: Nikkei Shimbun Journal and USDA

Exchange Rates(monthly averages) are from Mitsubishi UFJ Research and Consulting



Source: JETRO, 2017 https://www.jetro.go.jp/industry/foods/export_data.html (Visited on July 17, 2017)

日本のコメ輸出の現状

輸出量は国内生産量750万トンの

僅か **0.1%** !

国際競争力、輸出力の強化のためには

**国内保護策は再考を
(飼料稲作等への補助金による足かせ)**

世界の日本食ブームで “日本・Japan”の需要は高い！

- **輸出後発組の日本農業**
- **世界の日本食ブームはあと20年は続く**
– (高い日本産和牛が米国で好評)
- **継続的な国全体の取り組みが重要**
- **日本(産)が好きな世界の消費者**

海外対策(生産者サイド)

- **輸出を積極的に取り組む**
 - 世界の日本食ブームをつかむ
 - 自ら海外へ行脚を、新市場の開拓を
 - 輸出に慣れる
- **海外に生産基地を**
 - 生産コストの安い海外の生産者と共同事業を
 - 日本の技術を日本人により海外で現地の生産者とともに
 - 世界の日本し好を日本人がかかわっていることで事業に生かす

海外対策(国家レベル)

- **農産物輸出へ経済的支援、技術的支援を**
 - 輸出事業設立への低利融資、
 - 農業支援金融機関の海外進出
 - 日本農業関連企業全体が海外進出を
- **日本農業にとって輸出と海外生産が当たり前、という時代へ**
 - 日本農業を日本の地域に限定しない、
 - 世界の食料生産の拡大を日本の技術が貢献する、
 - 日本農業は日本と世界の消費者の厚生を目標に